

令和7年
12月号



太陽の都 だより

発行所●医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 右近

日常の「様子」

「マジックショー＆ビンゴ大会」

十一月九日に施設職員により脱出マジックショーを開催しました。

事前に準備を行い、入念な打ち合わせのかいもあり、大成功を収めました。ご利用者様からも「すごいわね!」「びっくりした!どこから出てきたのかしら!」と想像以上の反響に、披露した職員もびっくりしておりました。普段はあまり見ることのないマジックショーを存分に楽しんで頂けたようです。その後はビンゴ大会を開催致しました。クッションや毛布などの豪華景品を用意した事もあり、ビンゴ大会も非常に盛り上がりました。ご利用者様も出てきた数字を見て「今の番号いくつ?」「リーチ!」「ビンゴ!」と多数の声が聞かれました。元気な声をたくさん聴くことができ、開催に携わった職員も一緒に楽しめました。今後皆様喜んで頂けるレクリエーションを提供して参ります。



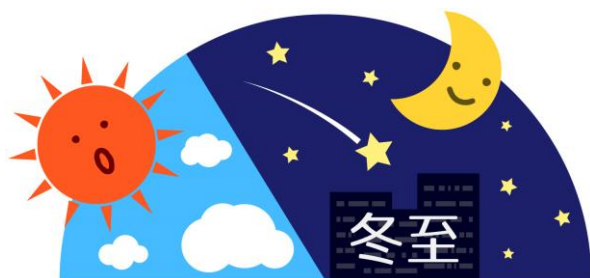
特集

「冬至」

冬至といえばゆず湯というくらい有名な柚ですが、その香りや薬効で体を清める意味があります。銭湯などでも、この時期は特別湯として、ゆず湯を採用されているところもあり、お風呂の中で柑橘系のさわやかな香りが印書的かと思えます。

冬至は「とうじ」と読みますが、「湯治（とうじ）」と言う意味も古くありました。そこからゆずを入れてお風呂に入る、という伝承が繋がるようです。冬至といえば、冬まっさかりでもうすぐ一年が終わろうという頃です。かぼちゃやゆずといったイメージがありますが、かぼちゃ以外にも旬な食べ物があります。又冬至は「日短きこときわまる」という意味で、北

半球において太陽の位置が一年で最も低くなり、日照時間が最も短くなる日です



「なぜ冬至にゆずを入れるのか」

各説ありますが、一番有力な説は、ゆずの木の性質に由来している、というものです。ゆずの木は、寿命が長く、虫などに強いという特徴があります。その特徴と自分たちを照らし合わせて、ゆずの木のように長生きし、病気にかからず無病息災でいたいという願いが込められて、お風呂にゆずを入れるようになったのではないかと言われています。実際ゆずにはビタミンがたくさん入っていますので病気の予防には有効です。冬至は来る冬に備えて強い体を作る日でもあるのです。太陽の都でもご利用者様にゆず湯を楽しんで頂く予定です。ご家庭のお風呂より大きい分、ゆずもたくさん使うので、人氣イベントの1つとして楽しんで頂ければと思います。



設備更新のお知らせ

「機械寝台浴槽・シャワーミスト浴槽」

開設当初より使用しておりました「機械浴」を新しいものに設備更新致しました。今までは車椅子の方を二人同時に入浴して頂けるタイプの浴槽でしたが、今回導入いたしました機械浴は、車いすに座ることの難しい方でも入浴可能な寝台浴槽と、ウルトラファインバブルという細やかなミストが毛穴の中の老廃物を浮き上げらせ、シャワーミスト浴にも関わらず、まるでお湯に浸かったかのような保温効果を実現する機械浴となっております。最近はかなり寒さも増してきておりますので、しっかり体を温めて頂き、体調管理に努めて参ります。

